



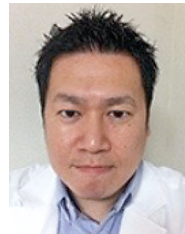
がん治療センターニュースレター

がん治療センターでは、病気の治療だけでなく、患者さんやご家族の不安・悩みを解消する心のケアなどを行っています。

整形外科骨軟部腫瘍グループ



長谷川 延彦



窪田 大介



高木 辰哉

がんの 運動器診療

はじめに

日本人の2人に1人ががんに罹患するといわれているがん時代である現在、生存できるかどうかに加えて、どれだけ人間らしく生活できるかが問われています。

多くのがんサバイバーが生活と治療を両立させており、最期まで動けることを目指すことが重要で、がん患者の運動器の問題が注目されています。

1 がんロコモについて

動けることに支障をきたした状態に、「ロコモティブシンドローム」という概念があります。これは運動器の障害のために移動能力が低下した状態と定義されます。がん患者においては、大きく3つの問題によるロコモティブシンドロームがあります(図1参照)。これらの問題によって、がん患者の運動器障害による移動能力の低下した状態を「がんロコモ」と提唱しています。

(図1) がんとロコモティブシンドローム:がんロコモ

がんによる
運動器の
問題

- 骨転移
(痛み・骨折・麻痺を生じる)
- 骨や筋肉などに発生するがん

がんの
治療による
運動器の
問題

- 骨・管瀬越障害
- 筋力低下、骨粗鬆症
- 神経障害

がんと併存
する運動器
疾患の進行

- 骨粗鬆症
- 変形性関節症
- 腰部脊柱管狭窄症 等

「がん」が影響し移動機能が低下した状態

進行するとがん患者のQOLの低下とともに、がん治療の継続が困難となり、生存期間にも影響します。また介護の必要性から、家族や社会の負担も大きくなります。現在、がん患者数の増加、治療の発達により、骨転移をはじめとしたがんロコモの患者が増え、その対策が求められています。



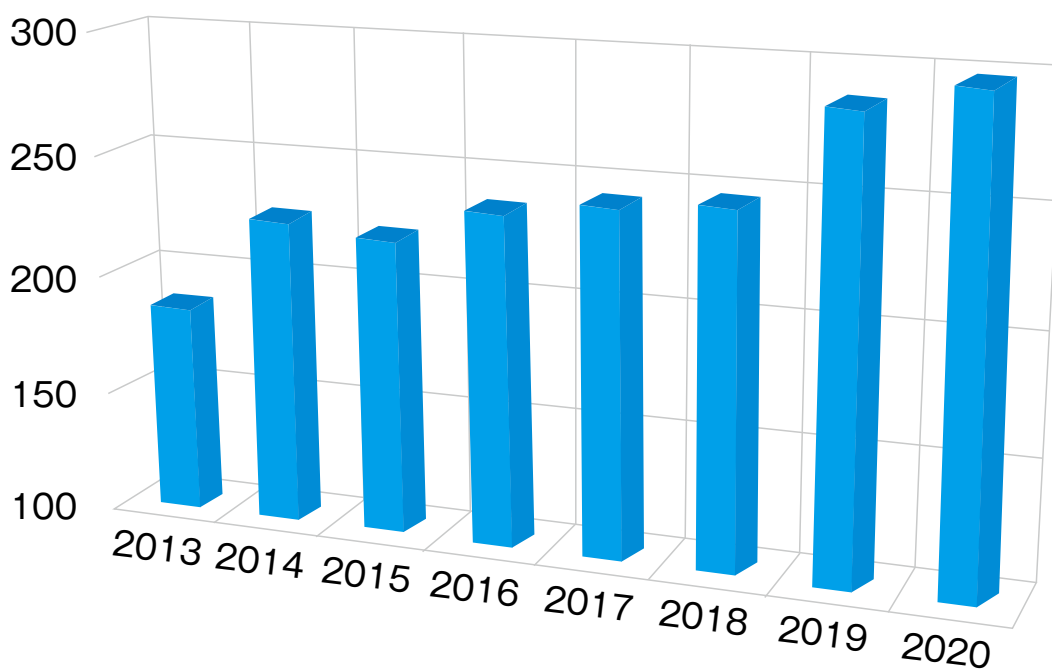
2 がん診療と運動器診療の連携

がんの運動器診療は、がん口コモのマネジメントと言いかえられます。がん口コモの対策は多岐にわたるため、多くの職種・診療科の協力・連携が必要です。がん診療科と整形外科や他の職種・診療科が意見を交わすことによって情報や問題点を共有できれば、患者だけではなく、その家族、医療・福祉関係者にも大きな安心をもたらします。

当院における取り組みとして、骨関連事象カンファレンス(SREC)を開催しています。これは多職種、多診療科メンバーが集まり、顔を合わせて相談するカンファレンスで、実際に行われる医療だけではなく、在宅や転院、就労への連携など、患者を取り巻く環境についても幅広く協議されます。近年のがん患者の増加に伴い、骨転移の患者も増加傾向であり、2020年に当科が介入した患者数は約300例を数えました。SRECも皆様のご協力のもと2011年より230回を数えることができました。

今後も継続をしていきたいと思えます。

整形外科における骨転移患者登録数



原発巣の内訳 (2020~2021)

肺 癌	38%
前立腺癌	10%
乳 癌	10%
多発性骨髄腫	8%
腎 癌	5%





3 がん運動期診療のこれから

がんの診断技術や治療の進歩に伴い、がん診療を取り巻く環境は日々、変化しています。がんの診療全体の中で、運動器診療の位置づけを患者・家族・医療従事者が各々に意識することが大切です。

また、整形外科がより積極的にがん診療にかかわることも必要です。皆様に整形外科ができることを知っていただき、がん診療科や多職種とコミュニケーションをとることができるような文化を育むことが必要だと考えています。

骨関連事象カンファレンス



2011年4月より開始し、
現在までに230回開催

SREC

- ◆2~3週間に1回
- ◆金曜日 17時半から 1時間程度
- ◆4~5症例を検討(10分/症例)
- ◆参加

- ・整形外科
- ・原発診療科
- ・リハビリテーション科
- ・放射線科
- ・歯科
- ・緩和ケアセンター
- ・リハビリテーション室
- ・医療福祉相談室
- ・病棟看護師

- ◆治療方針・リハビリ・退院支援

骨転移を中心としたがんの運動器障害、がん口コモの対策については、皆さんそれぞれの立ち位置から職種・診療科を超えた積極的な取り組みをしてくださることを願っています。



緩和ケアとこころの養生

がん治療センター
臨床心理士
高橋 啓示

今回は、本についての話をさせていただきたいと思います。

入院されている方とお話をするとき、家から持って来ていた本や絵本の話になることがあります。それらは、多感な時期に感銘を受けた本だということもあれば、生きる指針になる本だったり、幼いわが子に読み聞かせた思い出の絵本だったりすることもあります。

本はかさばるし、重い。病院に持ってくるのだって大変です。けれど、愛着のある本には時間をかけて読み、あるいは読んでもらった大切な記憶と、人生の痕跡が残っているようです。だからこそ、私たちは同じ本や絵本を何度も繰り返し読み返すのかもしれない。

誰しも、そういう本を持っているのではないのでしょうか。皆さんにとって、それはどんな本でしょうか。

ここで勝手ながら、がん治療センター心理士たちから、おススメの本を紹介させていただきたいと思います。まだまだ残暑が続きますが、涼しいところで読書などはいかがでしょう。



セルフケアの道具箱

ストレスと上手につきあう100のワーク

伊藤 絵美

晶文社

臨床心理士 青木 由佳子

読み進めながら、自分で自分を助けること(=セルフケア)が練習できます。

一人で手軽にできるストレス解消法から紹介されており、

いつでも手に取り楽になるヒントをもらうことができます。



心はどこへ消えた?

東畑 開人

文藝春秋

臨床心理士 高橋 啓示

“現代人の、コロナ禍のころを考えてみよう!

あれ?そのころがどこにもみあたらない。

…ころ、どこいった?”

激動の今、簡単に吹き飛ばされてしまいそうな私たちのころには、

こういう本が処方箋になるのかもしれない。

〈あとがき〉

東京都がん診療連携協議会 相談・情報部会担当者連絡会では、このたび、「人生に向き合う」をテーマに、がん相談支援センター長等が大切にしたい本を選定した、「がん相談支援センター長にきく『人生に向き合う』ブックリスト」を制作しました。

ブックリストは、がん治療センターの掲示コーナーにて、お手に取っていただけます。

また、以下のホームページからPDFをダウンロードできます。

信頼のおけるがん情報を見つけよう～がん情報ギフト「結ぶ」事業～ | 検索



ミニレクチャーのご案内

患者さんやご家族の方々が病気やその治療について理解を深めていただけるよう、テーマを決めて定期的に動画配信を行っています。

2020年7月までは、会場にお越しいただき、講演後には質疑応答の時間を設けておりましたが、2020年9月より、新型コロナウイルス感染拡大防止のため動画配信とさせていただきます。最新情報を盛り込んだ内容となっておりますので、是非ご覧ください。



2022年5月配信

「薬物療法と副作用への対応」 薬剤部(がん薬物療法認定薬剤師・外来がん治療専門薬剤師) 西郷 織江

2022年7月配信

「頭頸部がんのup to date」 耳鼻咽喉・頭頸科 大峽 慎一

URLまたはQRコードを読み取りご覧ください。

URL:<https://www.juntendo.ac.jp/hospital/clinic/cancer/patient/program/mini/>

順天堂医院 がん治療センターミニレクチャー | 検索



市民公開講座のご案内

7月23日(土)に開催しました。最新情報を盛り込んだ内容となっておりますので、是非ご覧ください。

講演1 「神経内分泌腫瘍とは?～診断と治療～」 肝・胆・脾外科 三瀬 祥弘 前任准教授

講演2 「がん治療薬の心臓・血管に対する影響」 循環器内科 宮崎 彩記子 特任准教授

URLまたはQRコードを読み取りご覧ください(過去の市民公開講座もご覧いただけます)。

URL:<https://www.juntendo.ac.jp/hospital/clinic/cancer/patient/program/answer/>

順天堂医院 がん治療センター 市民公開講座映像 | 検索



オンラインがん茶論のご案内

「がん茶論」は、患者さんご家族が主役の会です。

今気になっていることを話し合ったり、他の人の経験を聞いて参考にしたり、がんと共に生活する上で役立つ情報を聞いたりする会です。

新型コロナウイルスの影響で、休止しておりましたが、2021年11月よりオンラインで再開いたしました。

事前申し込み制となっておりますので、下記URLをご参照の上、「順天堂医院オンラインがん茶論申し込みフォーム」よりお申し込みください。

URL:<https://www.juntendo.ac.jp/hospital/clinic/cancer/patient/program/salon/>

順天堂医院 がん治療センター がん茶論 | 検索



▶お問い合わせ・・・03-5802-8196



旬の食材

今回は「栗」についてご紹介します。

栄養部 幸 由布子

いくぶん残暑も和らぎ、しのぎやすい季節となりました。夏のお疲れが出る季節でもあり、美味しい秋の味覚で、暑さで疲れた体に元気を取り戻しましょう。

今回は、この時期から出回る栗の紹介です。栗はでんぷん質が豊富で、加熱してもビタミンCが壊れにくいという特徴があります。その他のビタミン類(A・B1・B2)やカリウム、亜鉛も豊富に含まれ、さらに、栗の渋皮にはタンニンと呼ばれるポリフェノールの一種が含まれていて、老化防止やがん予防に繋がります。ぜひ渋皮も一緒に煮て食べてみてください。

美味しい栗の選び方は、鬼皮(外側の硬い皮)に張りがあり、鬼皮の茶色が濃い、指で押してもブカブカしていないものがオススメです。



がん治療センターニューズレター

[2022年9月 第40号] 創刊 2009年5月(年3回発行)

●発行元: 順天堂医院 がん治療センター

●住所: 東京都文京区本郷3-1-3

●電話番号 & ファクシミリ: 03-5802-8196

●Eメール: cancer@juntendo.ac.jp

●ホームページ: <https://www.juntendo.ac.jp/hospital/clinic/cancer/>

